

第三者評価結果の公表事項

①第三者評価機関名

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会

②評価調査者研修修了番号

2016-24 ・ 2019-01

③施設の情報

名称： 障害者支援施設 エデンの園	種別： 知的障がい者
代表者氏名： 甲斐 さち子	定員（利用人数）60 名
所在地： 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5	
TEL：0985-75-4936	ホームページ：http://miyazakieden.ec-net.jp
【施設の概要】	
開設年月日： 昭和 52年 6月 20日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 エデンの園	
職員数	常勤職員： 41 名 非常勤職員： 10 名
有資格 職員数	社会福祉士： 3 名
	精神福祉士： 1 名
	介護福祉士： 11 名
	作業療法士： 0 名
	看護師： 4 名
	准看護師： 1 名
施設・設備 の概要	(居室数)： 51 室
	(設備等) 個室毎にエアコンあり

④理念・基本方針

- ・キリスト教の精神による利用者支援を行います。
- ・人として当たり前の実現を目指す支援を行います。
- ・一人ひとりの可能性を求めてリハビリテーションを推進します。

⑤施設の特徴的な取組

視覚障がい者の受け入れを積極的に行っています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月04日（契約日）～ 2022年12月27日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成 27 年（2015 年）度

⑦総評

◇特に評価の高い点

- ① ケース記録、各種会議録、委員会議事録、支援マニュアル等支援に必要な文書、及び規程集等、管理運営に係る文書も整備され、またケース記録等はパソコンで管理するなどデジタル化を駆使して実施していることは高く評価できます。
- ② 施設の理念・基本方針、行動規範、その他支援に必要なマニュアルを個々人が携帯可能な一冊の本「働く人のハンドブック」に集約し、職員が常に活用できる状態にあることは高く評価できます。
- ③ 国の制度以外にも施設独自の様々な取り組みを地域に向けても行っていることは高く評価できます。
- ④ 利用者への福祉サービスの基となるマニュアルについては、支援や医療、防災、感染対応など様々なマニュアルが作成されており、各種委員会や会議も定期的で開催され、年間計画に沿って組織的に運営されていることは高く評価できます。
- ⑤ 単一の施設内を障がいの特性や度合い・年齢・性別等で6つの居住エリアに分けて、少人数制で日常生活やグループ活動が行われています。エリア毎に重点目標を定め、利用者一人ひとりの生活に視点を向けた決め細かなより質の高い支援の提供に取り組まれていることは高く評価できます。

◇改善を求められる点

- ① 組織の中で管理者を含む管理職と一般職の間で意志疎通が図られていないように見受けられます。支援の実際、事業の実行を行う上で、全職員の意志統一は必要不可欠なものと考えます。今後の課題点として考えます。
- ② 利用者を障がい特性等でエリア分けを行い、エリア内での利用者支援に対して職員間で情報を共有する仕組みは出来ていますが、他エリアの職員が他エリアの利用者を支援する場面での情報共有が不十分と考えられます。更なる利用者支援の充実を図るために、職員間の情報収集・共有の仕組みの再構築を期待します。
- ③ 利用者や職員の安全を確保する為に、防災計画や防災マニュアルが整備され、施設内での防災教育や訓練に取り組まれています。公的機関や同法人事業所との連携はとれていますが、今後は地域住民や近隣施設との協力体制を構築されることを期待します。

① 第三者評価結果に対する施設のコメント

今回、第三者評価を受けることで、改めて自施設の現状を整理することが出来ました。

・チェック項目の中から、職員一人一人が組織の一員として、また、福祉人として理解すべき内容や、意識すべき事項が明らかになり、今後の課題が見えてきました。

・現在取り組んでいる内容に対し、自信と自覚を持ち、更により良い支援に繋がられる事が理解できました。

・このような機会が得られたことで、全職員で取り組むことの重要性について、再確認する事が出来ました。

⑨ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。